

## ◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年2月27日・第113号—

### <目次>

●情報公開を求める東京高裁での裁判が始まります

■「高齢者外出支援乗車事業の請願」は継続審議に

▲お知らせコーナー

☆2/27 川崎市議会代表質問

☆3/1 住まいについての学習会

☆3/6 情報公開を求める東京高裁第1回口頭弁論

☆3/10 原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

☆3/16 学習会 指定管理者制度市民のための図書館運営できる？

☆3/23 映画「荒野に希望の灯をともし」上映

☆3/30 ゆめシネマ:無声映画上映会

★編集後記

●情報公開を求める東京高裁での裁判が始まります

教科書採択に関わる会議の音声データ不開示処分取消しを求める控訴審第1回は、3月6日(水)午後1時30分東京高等裁判所424号法廷で開廷します。

傍聴者は10分前までに集合。当日は小林弁護士と畑谷弁護士が意見陳述を行います。

### <川崎市教委の暴走を止めるための重要な裁判の見通しは？>

控訴に当たっての市教委の一審と代り映えない主張などを考えると、控訴が棄却される可能性が高いと考えられます。

しかし、昨年、湯河原町議会の少数会派の方への多数会派と町当局が一体となって行った議員活動の妨害をめぐる裁判の控訴審判決(横浜地裁では議員の全面勝訴)は、即日結審(通常、一審の判断が支持されることが多い)にもかかわらず、一転して逆転敗訴となるなど、地裁・高裁・最高裁と順に市民の思いが通り難くなる日本の裁判の現状を考えると油断できません。

### <なんで音声データの不開示は 条例違反なの？>

川崎市情報公開条例では、「市に関する情報は公開することを原則」と定め、情報公開ハンドブックでは非公開とすることができる情報は、「公開することにより個人のプライバシーを侵害するおそれがある情報など、非公開とするに足りる合理的理由を有するものに限定」と説明してい

ます。

### <市教委は音声データが公開されると>

- ①後々いろいろ言われるのではないかと気にして自由に発言できなくなり、会議の決定が偏ったものになるおそれ
- ②録音から発言の一部が抜き出されるなどして誹謗・中傷を受けそうだと考え、発言を控えることが起き、教科書採択の仕事に支障を及ぼすおそれ

などの「おそれ」があるので公開できないと主張しました。

しかし市教委は「おそれ」が現実になった具体例を示すことはできませんでした。

その結果、横浜地裁は「合理的理由」がないのに公開しなかった事は、情報公開条例に違反するとして、市教委の非公開決定を取消す命令を下しました。

### <市教委は控訴した理由をなんて言っているの？>

市教委は、地裁判決の逆転をねらい、「横浜地裁の判示は誤りである」と述べています。

その理由として、「審理および判断すべきポイントは、会議の録音が開示された場合、委員が録音の一部を抜き出され悪用されることに不安を感じるおそれがあるかどうか、またそのような不安があることで委員が自由に発言する事をためらうおそれがあるかどうか、という点にあり、公開された録音が悪用されるおそれが具体的にあるかどうかではない、」と主張しています。

—そして、市教委は元総合教育センター所長と現職教育委員を証人申請しました。—

### <申請理由は>

「証人により、音声データが開示されることとなると、音声データが悪用されることに不安を感じるおそれがあり、忌憚のない意見を述べることを差し控えるおそれがあることを立証する」としています。

元公務員と「特別職公務員」が、条例上のきまりではなく、個人の不安感情こそ配慮すべき対象と主張することに、ただあきれればかりです。

音声データ開示によって、情報をより早く、正確につかみやすくなり、行政との協働もより深まる可能性が高くなったのに、後退させる訳にはいきません。

控訴審でも「完全勝訴」となるよう今回も皆様のお力をお貸しください。勝手なお願いではありますがカンパや傍聴参加などご支援よろしくお願ひいたします。

## ■「高齢者外出支援乗車事業の請願」は継続審議に

2月1日、川崎市議会の「健康福祉委員会」が開かれ、年金組合川崎支部協議会が提出した「高齢者外出支援に関する請願」は継続審議となりました。

請願要旨とした最低限の願いである「現行の高齢者フリーパス方式と高齢者特別乗車証明書による半額方式の維持」に賛意が得られず残念です。

川崎市の外出支援乗車事業は、市内在住の70歳以上の高齢者が市内の路線バスに優待乗車できる制度で、2022年10月から交通系ICカード化されました。

川崎市は、第3期行財政改革のなかで、「利用者、行政、バス事業者の負担割合のあり方や、フリーパス方式の上限回数設定、利用者負担の増額などについて検討する」としています。

この日の委員会では活発な議論が行われ、さすがに「高齢者の福祉の増進」のために、この事業の継続が必要であることに正面から異論を挟む会派はありませんでした。

担当部局の資料では、昨年10月のICカード登録率は54%、月間の一人当たり利用回数は35回、事業費は19年の約19億円から24年度予算では約26億円となることなどが示されました。

しかし、ある議員が指摘したように、システム維持費などに2.3億円が計上、システム化によって減るはずの事務費が1.9億円と19年比で58百万円も増加する問題点などが指摘されました。

「あり方検討委員会」が実施したアンケートでは、「利用者負担が増えれば『利用が減ると思う』との回答が半数を超える。事業費だけで考えるのは誤り。

48%が現行制度の維持を求めており、さらなる改善を求める声も10%ある」「事業効果の検証も必要」との指摘や、縦割り行政ではなく、コミュニティ交通との関係など、連携した公共交通政策として考える必要があるとの意見が、共産党やみらいの委員から出されていました。

「今後の方向性」として、正確な利用実績をベースにした事業費シミュレーションを本年3月に算出予定。

その「シミュレーションの結果」「利用者の増加」「乗車料金の動向」などを踏まえ「利用者負担や年齢要件などの事業のあり方を検討する」ので、「現時点では今後の利用者負担は未定」というのが市の提案でした。

請願の取り扱いの採決では、共産党のみが「採択」を主張、審議のなかでの意見表明では「採択」にまわるかと期待した「みらい」も含め、他の会派は「継続」としました。

この結果、3月のシミュレーション結果報告を待つて再度検討することになりました。

川崎市支部協議会事務局長・坪井盛治

## ▲お知らせコーナー

### ☆川崎市議会代表質問

2/27(火)

午前:自民党、午後:みらい

2/28(水)

午前:公明党、

午後:共産党、維新の会

### ☆住まいについての学習会

「国民・市民の住宅困窮と居住政策―川崎市の住宅施策について」

3/1(金)18:30

高津市民館 第6会議室

※ZOOM 配信もあり、申し込み制

講師 坂庭国晴 (国民の住まいを守る全国連絡会代表幹事)

主催 日本共産党川崎市議団

### ☆情報公開を求める東京高裁第1回口頭弁論

3/6(水)13:30 開廷

東京高裁、(霞が関)424号法廷

傍聴者は、13:20までに控室に

連絡先:情報公開制度を活かす川崎市民の会

070-5574-8006

### ☆第13回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集会

3/10(日)

11時開場

12時文化行事

13時集会

ゲスト:海渡雄一(脱原発弁護団共同代表)

鴨下美和(福島からの避難者)

14時半 デモ出発(小杉駅まで)

### ☆西加瀬署名活動・中原区スタート集会

3/16(土)6時半

川崎市総合自治会館第1会議室

### ☆かわさき市民集会

指定管理者制度で市民の為の図書館運営出来る？

3/16(土)14時～16時

高津市民館12階第5会議室

資料代 500円

連絡先 090-6153-9566 (岡本正子)

### ☆2023年度地球市民講座

映画「荒野に希望の灯をともし」上映

講演 中村医師を支えた看護師 藤田千代子さん

3月23日(土)開演 12:50 国際交流センター

先着200名 参加費 1000円

申し込み 044-4355-7000

主催 かわさき国際交流民間団体協議会 後援 川崎市

### ☆ゆめシネマ:ピアノ伴奏付き無声映面上映会

3/30(土)

10時「スージーの真心」

14時「港々に女あり」

一般:1000円

障がい者:500円

学生以下:200円

044-433-3003 ゆめホール

[cinema@kawasakiyume.com](mailto:cinema@kawasakiyume.com)

## ★編集後記

うるう年で1日長いとはいえ、2月はあっという間に過ぎていきます。

寒暖の激しい毎日ですが、平均すれば温暖化の影響は明らかで、多摩川岸の草地には、春の野草の小さな花がいっせいに咲きだしています。

私たち人間も、やっと、コロナ禍の3年間を抜け出し、2024年をなんとか希望の年にしたいと各地でつどいや取り組みがにぎやかに始まっています。

しかし、そんな私たちの願いは、なかなか市政にも国政にも届きません。

川崎市が発表した2024年度川崎市予算案は、学校給食費無料化も18歳までの医療費無料化も、特養ホームの新增設も、難聴者への補聴器補助も、ゼロ回答のオンパレード。

それでも、全国の地方自治体や地域住民は、知恵を出し合い、人々のつながりを活かしながら、安心と希望のまちづくりに挑戦しています。

学校給食費無料化の自治体は、500に急接近。18歳までの医療費無料化は県内33自治体中27自治体の実現。

補聴器補助制度は1年間で倍増の239自治体で実現です。

川崎市民も、あきらめるわけにはいきません。

予算を審議する川崎市議会に傍聴にいきましょう。

同じ願いをもった人たちと相談して請願や陳情をだしましょう。

市議会に行く余裕がないならば、市長への手紙をかきましょう。

近くの議員に直接、声をとどけましょう。

今週から、市議会では予算案をテーマに、各党の代表質問が始まります。(H)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ

<https://my922p.com/l/m/4jVyCWyGdquDHJ>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

<https://my922p.com/l/m/9rL0SHjjwS1fZA>

誤って登録解除した場合、以下よまでご連絡をお願いします。

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ